

VLBIプログラム小委員会
及び
VLBI運営小委員会の報告

小委員会委員長
藤沢健太(山口大学)

VERA共同利用観測の公募

- 世界に公開した共同利用観測の公募
 - 観測期間:2013年の1年間
 - 周波数=6.7/22/43GHz
 - 2ビームの観測=提案可能
 - 観測局の利用形態は3通り可能
 - VERAのみ
 - VERA+NICT34m
 - VERA+NRO45m+NICT34m
 - 目標観測割当時間=400時間
 - 従来どおり
 - 公募締切:2012年10月31日

プログラム小委員会の概要

- 小委員会の開催

- 日時: 2012年12月11日 13:00 - 14:30

- 場所: 国立天文台三鷹小会議室

- 委員会構成員・出席者(敬称略)

- 台内

- 本間(水沢VLBI観測所)、久野(野辺山)、郷田

- 台外

- 市川(情報通信研究機構、今井(鹿児島大学)、藤沢(山口大学; 委員長)

- オブザーバー

- 川口則幸(水沢VLBI観測所)

応募・審査結果

- 応募
 - 総数 7(前年は11)
 - 国内3、国外4
 - 総要求時間 423時間(平均60時間／提案)
 - 野辺山・鹿島利用希望 2提案、150時間
- 採択
 - 採択数 6提案
 - 観測時間 359時間
 - 野辺山・鹿島の利用 2提案、150時間
(可能な範囲で実施)

No.	Proposal Title	提案者	所属	カテゴリ	割当時間	バンド
77	Flux variability monitoring of broad absorption line (BAL) quasars	M. Kunert-Bajraszewska	TCfA	AGNs	40 (10x4)	22,43
78	Probing the jet associated with the O-type protostar in NGC7538 IRS1	L. Moscadelli	INAF-Arcetri	Star forming regions	32 (8x4)	22
79	Tracing jets from B-type (proto)stars with H ₂ O masers	R. Cesaroni	Osservatorio di Arcetri	Star forming regions	40 (8x5)	22
80	VERA/VLTI campaign observations of W Hydrae	今井 裕	鹿児島大学	Stars	30 (10x3)	22
82	Limits on the core-jitter of the nearby TeV γ -ray blazar Mrk 421	K. Niinuma	Yamaguchi Univ.	AGNs	96 (12x86)	22
83	The multi-epoch VERA observations of the galactic center Sgr A* before and after the encounter with the Gas Cloud G2	Kazunori Akiyama	The University of Tokyo/NAOJ	AGNs	120 (20x6)	43

●天体分類 AGN=3件、星・星形成=3件 ●バンド 22=5, 43=2, 6.7=0

審査の補足

– 割当時間

- 要求通り 6件

– 条件付き採択

- ToO観測の提案があったので、トリガー条件を明示するようPIに連絡することとした。
- 野辺山共同利用で採択された同じ天体をVERAで観測することになった。観測時間まで重なった場合は、野辺山の共同利用を優先とする。
- 野辺山の観測時間は可能な範囲で30時間程度の参加の見込み。

– 議論

- 共同利用への応募はもっとあってもよいのではないか。
- 測地のデータ利用も共同利用として受け付けるので、公募にそのように書くことにしたい。

国立天文台VLBI運営小委員会報告

- VLBI運営小委員会とは
 - 国立天文台が設置する委員会の1つ。電波専門委員会の下部に位置する
- 構成員(敬称略)
 - 天文台内:立松、久野、川口、柴田、郷田、小林、佐々木、本間(8名)
 - 天文台外:面高、中井、福崎、徂徠、藤澤、米倉、小川、高羽、嶺重、村田、市川(11名)
- 設置目的(「国立天文台専門委員会規則」より)
 - 第2条 委員会は台長の諮問について答申をし、または台長に意見を具申する。
 - 第8条 各委員会等に、その任務とする特定に事項について調査審議するため、小委員会又はワーキンググループを置くことができる。
- 今期の委員会の議論の方針
 1. VLBI運営小委員会は、電波専門委員会から出された審議事項を審議し、電波専門委員会に答申する。
 2. VLBI運営小委員会は、国立天文台が主体的な役割を担うVLBIの研究に対し、将来計画を含めた研究計画と研究の指針を議論し、VLBI関係者の総意を形成し、またそれを電波専門委員会に提出する。

審議事項（代表的なものを紹介）

- VERA共同利用に関する審議
 - VERAの運営、特に共同利用の方針は本小委員会で審議し、電波専門委員会に答申して承認を受けて、初めて実施される。
- 大学連携、VERA+KVN、東アジアVLBIの運営及び共同利用に関する審議
 - VERAを中心とする組織的な活動は、その方針や現状などについて随時報告及び審議を本小委員会でを行い、上部委員会に報告する。
- Astro-Gのレビュー
 - 国立天文台が推進していたAstro-Gの問題を本小委員会でも総括した。
- その他
 - 国内外のVLBI関連活動報告、必要な事項に関する審議などを行う。
 - 関係する者が意見を公にし、議論を行い、合意を形成し、また必要に応じて判断をする場として、本小委員会がある。

会議開催

- 第39回(2012/11)
 - 今期の議論の方針を決定
- 第40回(2013/02)
 - プロジェクトウィーク報告、VERA+KVNの共同利用、他
- 第41回(2013/04)
 - VSOP2問題総括まとめ、ブラックホールVLBI-WGについて、VLBIの将来像について、他
- 第42回(2013/08)
 - 2013年度のVERA共同利用について、他
- 第43回(2013/11予定)